



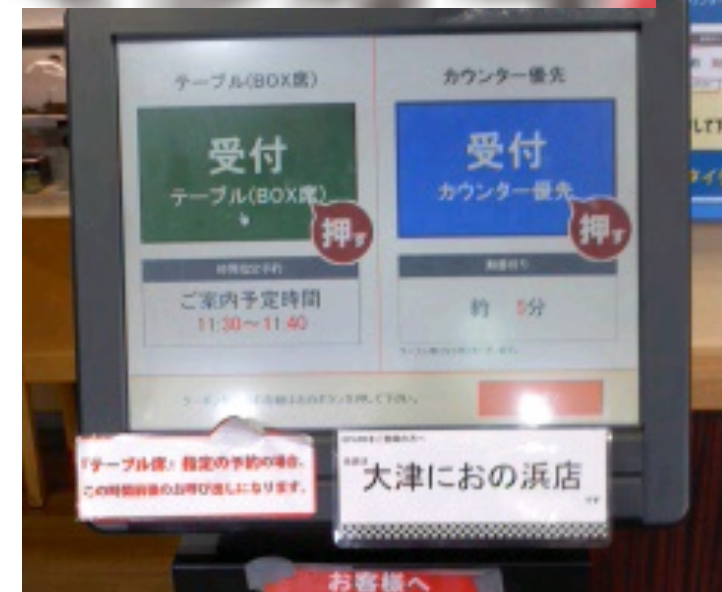
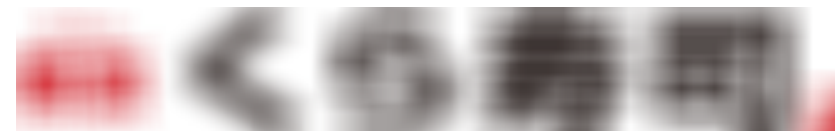
～ハンズオン～

サイボウズ株式会社
2014.9.26

本日のゴール

kintoneで受付システムを作ろう

こんなやつです



来店者入力用の画面

Twilio×kintone - レコードの一覧

cybozu.com アプリ内検索

Twilio×kintone

+ 一覧: 来店者入力用 ▼ グラフ: - ▼

受付システム

名前

電話

人数

座席 ☒ テーブル ☐ カウンター

Copyright (C) 2014 Cybozu

店舗用の画面（一覧）



店舗用の画面（詳細）



構成

来店者入力用の画面

受付システム

名前

電話

人数

座席 ☒ テーブル ☐ カウンター

店舗用の一覧画面

+ 一覧: 店舗用 ▼ グラフ: - 1 - 3 (3件中) ◀ ▶

名前	人数	席
<input type="checkbox"/> ぼうず たろう	2	カウン
<input type="checkbox"/> すずき いちろう	5	テーブル
<input type="checkbox"/> たなか じろう	1	カウンター

店舗用の詳細画面

呼び出し

名前
ぼうず たろう

携帯電話番号
90999999999

人数
2

席
カウンター

1. 電話番号を登録

2. 確認

3. 呼び出し



kintoneアプリ



4. SMS送信

開発時に便利な情報

cybozu.com developer network



<https://cybozudev.zendesk.com/>

-
- 動作環境
<https://www.cybozu.com/jp/service/requirements.html>
 - kintone JavaScript APIのイジリかた
<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/201755040>
 - JavaScriptカスタマイズのデバッグをかんたんにするウラワザ
<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/201308690>
 - 本日の資料
 - 基礎講座
https://github.com/asaga/twilio-kintone/blob/master/kintone_lecture.pdf
 - ハンズオン
https://github.com/asaga/twilio-kintone/blob/master/kintone_hands_on.pdf

JavaScript のデバッグ

- ChromeやFirefoxの開発ツールが便利
 - ブレークポイントの設定
 - コンソールで出力内容を確認

タイムスケジュール

- | | | |
|-------|-----------------------------|-----|
| Step1 | kintone アプリを作ろう | 30分 |
| Step2 | 詳細画面にボタンを置こう | 30分 |
| Step3 | Twilio APIを使ってSMSを送ろう | 30分 |
| Step4 | カスタマイズビューで来店者用の
入力画面を作ろう | |
| Step5 | 受け付け情報をkintoneに登録しよう | |

Step1

kintone アプリを作ろう

(目標：30分)

kintone アプリを作ろう

- アプリ名は任意の名前でOK。
- 一般設定はデフォルトで。
- 以下の内容でフィールドを配置します。

フィールドタイプ	フィールド名	フィールドコード	その他
文字列（1行）	名前	name	必須
数値	携帯番号	tel	必須
数値	人数	number	必須
ラジオボタン	席	seat	テーブル、カウンター

- 一覧の設定

一覧名	店舗用
レコード一覧の表示形式	表形式
項目	名前、人数、席
絞り込み	条件：すべてのレコード ソート：作成日時/昇順

ヒント

- アプリの作成手順

<https://help.cybozu.com/ja/k/user/tutorial.html>

※ 「アプリを作成する」 辺りを参照

- カスタマイズビューの設定は後ほど行いますので、ここでは不要です。

Step2

詳細画面にボタンを置こう (目標：30分)

詳細画面にボタンを置こう

- JavaScriptを使って詳細画面にボタンを配置します。
- 最終的にはボタンがクリックされたらTwilio APIをコールしますが、ここではアラートを出すぐらいでOKです。
- JavaScriptファイル名は任意の名前で構いません。

ヒント

- レコード詳細にもボタンを設置しよう！
<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/201952870>
- 利用するJavaScript API
 - イベント処理
 - kintone.events.on(event, handler(event))
<http://goo.gl/rBtTuj>
 - レコード詳細画面が表示された時のイベント
 - app.record.detail.show
<http://goo.gl/9Bx00x>
 - メニューの右側の空白部分の要素を取得する
 - kintone.app.record.getHeaderMenuSpaceElement
<http://goo.gl/FGKvpY>

解答案



<https://github.com/asaga/twilio-kintone>



twilio-kintone-detail1.js

Step3

Twilio APIを使ってSMSを送ろう (目標：30分)

Twilio APIを使ってSMSを送ろう

- Step2で作ったJavaScriptファイルを変更します。
- 詳細ボタンをクリックしたら、Twilio APIを実行し、SMSを送信します。

ヒント

- レコードの値を取得する方法
<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/202086734>
- 他サービスのAPIからデータを取得して
kintoneに表示してみよう
<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/201732490>
- 利用するJavaScript API
 - 外部のAPIを実行する
 - kintone.proxy(url, method, headers, data, callback, errback);
<http://goo.gl/MJphEU>

ヒント

- Twilio REST ウェブ サービス インターフェイス
<https://jp.twilio.com/docs/api/rest>
- セキュリティ
<https://jp.twilio.com/docs/security>

解答案



<https://github.com/asaga/twilio-kintone>



twilio-kintone-detail2.js

Step4

カスタマイズビューで 来店者用の入力画面を作ろう

カスタマイズビューで入力画面を作ろう

- カスタマイズビューで来店者用の入力インターフェースを作ります。
(デザインは自由です)
- 「受け付け」ボタンをクリックした時の処理はStep5で作成します。

カスタマイズビューで入力画面を作ろう

- 一覧名は「来店者入力用」と設定します。
- 一覧IDを控えておきます。
- 「ページネーションを表示する」チェックはオフにします。
- 絞り込み、ソートはデフォルトで。
- 解答案では以下の仕様としています。

入力項目	type	id	備考
名前	text	visitor_name	
電話	text	visitor_tel	
人数	text	visitor_number	
座席	radio	visitor_seat	idはnameとして指定
受け付け	-	btn_reserve	Aタグ

ヒント

- カスタマイズビューを利用してみよう
<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/202905604>

解答案



<https://github.com/asaga/twilio-kintone>



twilio-kintone-customizeview.txt

Step5

受け付け情報をkintoneに登録しよう

受け付け情報をkintoneに登録しよう

- 「受け付け」ボタンがクリックされたら、REST APIを使い、入力された情報をkintoneにレコード追加します。
- Step2,3で作成したJavaScriptファイルとはファイルを分ける事も可能です。
- JavaScriptファイル名は任意の名前で構いません。

ヒント

- 入力値の取得にjQueryを使う事も可能です
※jQueryのURLをJavaScriptファイルとして指定します
<https://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/1.11.1/jquery.min.js>
- kintoneに送信するJSONデータの作り方
<https://cybozudev.zendesk.com/hc/ja/articles/200295019>

ヒント

- 利用するJavaScript API
 - イベント処理
 - kintone.events.on(event, handler(event))
<http://goo.gl/Bxlb2V>
 - REST APIリクエストを送信する
 - kintone.api(pathOrUrl, method, params, callback, opt_errback)
<http://goo.gl/nVS12K>
 - アプリの ID を取得する
 - kintone.app.getId
<http://goo.gl/CHZkxQ>
- 利用するREST API
 - レコードの登録（1件）
 - /k/v1/record.json
<http://goo.gl/PrjPHx>

解答案



<https://github.com/asaga/twilio-kintone>



twilio-kintone-index.js

最後に補足

- Twilioの認証情報をJavaScriptに記述する必要があり、セキュリティ的に問題。

➡ kintoneの今後の機能強化にご期待下さい。

- ヘッダーやメニューの表示が不要。

➡ kintoneの今後の機能強化にご期待下さい。

- もっとkintoneの開発を試したくなった。

➡ 開発者ライセンスをご提供しています。

お疲れ様でした

